

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組				
国語		論理国語 (2 単位)		3A、3B				
教科担当者:		(A組: 近)(B組: 近)(C組:)						
使用教科書:		新編 論理国語 (大修館書店)			使用教材等:		ワークシート・課題等	
学習目標:		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。						
観点別の評価基準								
【知識・技能】		【思考・判断・表現】			【主体的に学習に取り組む態度】			
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。		論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			言葉の価値に対する認識を深め、読書に親しみ自己を向上させる。言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
学期	月	指導内容・単元		具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1 学 期	4月	(春季休業中)		「論理」についての筆者の考えを読み取らせ、それをもとに自分自身の考えを持たせる。				6
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)						
		ガイダンス			○		○	
		「論理的な人はどういう人か」野矢茂樹				○	○	
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休		(中間考査 5/14-19)				8
		「論理的な人はどういう人か」野矢茂樹				○	○	
		中間考査			○	○	○	
		「論理」への第一歩			○	○	○	
	6月	「突然変異と進化の関係」長沼毅		具体例の役割を意識し、論理の展開を捉えさせる。 具体と抽象の関係について、理解を深めさせる。	○		○	8
		「ウサギの耳はなぜ長い？」上田恵介				○	○	
		「ウサギの耳はなぜ長い？」上田恵介				○	○	
		「ウサギの耳はなぜ長い？」上田恵介 具体と抽象を使いこなそう			○	○	○	
	7月	具体と抽象を使いこなそう		(期末考査 7/1-7)	○	○	○	6
		期末考査				○	○	
		答案返却						
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)						
	(夏季休業中)							
	(夏期休業中)							
	(夏期休業中)							
8月								
2 学 期	9月	「米の種類と食文化」稲垣栄洋		対比の役割を意識し、論理の展開を捉えさせる。		○	○	8
		「対話の精神」平田オリザ			○		○	
		「対話の精神」平田オリザ				○	○	
		「対話の精神」平田オリザ				○	○	
	10月	「対話の精神」平田オリザ		効果的な対比の用い方について、理解を深めさせる。 (中間考査 10/14-17)		○	○	8
		対比を使って主張する			○	○	○	
		中間考査			○	○		
		「文化としての科学」池内了 (セーフティ教室・農高祭準備)				○	○	
	11月	(農高祭)		(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6) 筆者の主張と根拠の役割を的確に捉えさせる。	○		○	8
		「『考える葦』であり続ける」小川和也				○	○	
		「『考える葦』であり続ける」小川和也				○	○	
		「『考える葦』であり続ける」小川和也				○	○	
	12月	「『考える葦』であり続ける」小川和也		文章の構成や論理の展開に注目し、要旨を把握させる。 (期末考査 12/8-12)	○	○		6
		期末考査						
		答案返却、行事						
		HR指導、学校行事、終業式 (冬季休業中)						
3 学 期	1月	(冬季休業中)		異なる立場の文章を比べ、考えを深める。 対比の役割を意識し、論理の展開を捉えさせる。		○	○	8
		「『言葉の揺れ』を認めるか」			○		○	
		「紙の本はなくならない」内田樹				○	○	
		「紙の本はなくならない」内田樹				○	○	
	2月	「紙の本はなくならない」内田樹		構成や記述に配慮し、読みやすいレポートを書く (自宅学習・入選・採点2/20-25)	○	○	○	8
		レポートを書く			○	○	○	
		レポートを書く			○	○	○	
		レポートを書く			○	○	○	
	3月	学年末考査		(学年末考査 3/2-6)	○	○		4
		答案返却、卒業式予行・卒業式						
HR指導、学年集会、行事 (行事・特別指導)、修了式、 (春季休業中)								
履修上の注意						予定時数計		78
特記事項等								

教科	科目名・単位数			対象学年・組			
保健体育	体育	(2 単位)	3年A組・B組				
教科担当：(A組：高崎・中村) (B組：高崎・中村) (C組：)							
使用教科書：	最新高等保健体育			使用教材等：			
学習目標：	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。						
観点別の評価基準							
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】			
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。		生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に励む態度を養う。			
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数
1 学 期	4月	(春季休業中)	・役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする。 ・課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。	☐		☐	6
		オリエンテーション		☐			
		オリエンテーション		☐			
		陸上競技		☐			
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	(中間考査 5/14-19) ・役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする。 ・課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。			☐	8
		陸上競技		☐			
		中間考査			☐		
		バレー		☐			
	6月	バレー	・チームの作戦に応じた守備位置から、拾ったりつないだり打ち返したりすることができる。 ・チームや自己の課題を解決するための練習の計画を立てている。		☐	☐	8
		バレー			☐		
		バレー		☐			
		バレー		☐			
	7月	期末考査	(期末考査 7/1-7)	☐			6
		答案返却			☐	☐	
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)					
		(夏季休業中)					
	(夏期休業中)						
	8月						
2 学 期	9月	スポーツフェスティバル練習	・チームや自己の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ・選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。			☐	8
		スポーツフェスティバル練習				☐	
		スポーツフェスティバル練習		☐			
		スポーツフェスティバル練習				☐	
		スポーツフェスティバル練習				☐	
	10月	スポーツフェスティバル練習	(中間考査 10/14-17) ・チームや自己の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ・選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。			☐	8
		スポーツフェスティバル練習		☐	☐		
		中間考査			☐		
		スポーツフェスティバル練習		☐			
	11月	(農高祭)	(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6) ・自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。			☐	8
		長距離走		☐		☐	
		長距離走				☐	
		長距離走			☐	☐	
		長距離走		☐	☐	☐	
	12月	長距離走	(期末考査 12/8-12)	☐			6
		期末考査		☐		☐	
答案返却、行事					☐		
HR指導、学校行事、終業式					☐		
(冬季休業中)							
3 学 期	1月	(冬季休業中)	・自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。				8
		長距離走		☐			
		長距離走				☐	
		長距離走		☐			
		長距離走		☐		☐	
	2月	ターゲットバードゴルフ	(自宅学習・入選・採点2/20-25) ・フェアなプレイを大切にしようとしている。 ・練習やゲームを行う場面で、チームや自己の活動を振り返り、よりよいマナーや行為について提案している。	☐			8
		ターゲットバードゴルフ		☐			
		ターゲットバードゴルフ				☐	
		ターゲットバードゴルフ			☐		
	3月	学年末考査	(学年末考査 3/2-6)	☐			4
		答案返却、卒業式予行・卒業式		☐			
		HR指導、学年集会、行事				☐	
		(行事・特別指導)・修了式、				☐	
		(春季休業中)					
	履修上の注意				予定時数計		78
特記事項等							

教科	科目名・単位数		対象学年・組					
美術	美術Ⅰ	(2単位)	3年A・B組					
教科担当者:	A組:古川 仁史 1: 古川 仁史 (C組:)							
使用教科書:	高校生美術 116日文 美Ⅰ-702		使用教材等: 教科書 プリント 描画・彩色用具各種					
学習目標:	中学美術の内容を基礎として、各課題により美術表現の幅を広げ、感性を豊かにし、創造的な表現力を高め自己の価値観を形成する。また、美術文化への理解を深めることを目標とする。							
観点別の評価基準								
【知識・技能】		【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】					
美術に関する知識と各課題での表現の技術の習得度合いの評価。		作品の作成、観察、分析、説明等、思考力を必要とする活動の評価。	美術に対して興味や関心を持ち、授業に意欲的に参加し、積極的に学習に取り組む姿勢への評価。					
	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数	
1 学 期	4月	(春季休業中)	教科書作品模写により生徒各自の描写力の評価。レタリング練習による正確な描き込みの評価とその後の「文化祭ポスター」制作への展開を図る。				6	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)						
		・教員、生徒自己紹介・教科書作品模写		○	○	○		
		・教科書作品模写			○	○		
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休・レタリング練習	レタリング練習による正確な描き込みの評価と。「文化祭ポスター」制作ではアイデアスケッチでの構図、文字の配置、絵柄の内容を評価。			○	○	8
		・中間考査						
		・自習						
		・文化祭ポスター制作		○	○	○		
	6月	・文化祭ポスター制作	「文化祭ポスター」制作ではアイデアスケッチでの構図、文字の配置、絵柄の内容を具体的に表現し、配色、絵の具材料の扱いを含め、表現できたかを評価。	○	○	○	8	
		・文化祭ポスター制作		○	○	○		
		・文化祭ポスター制作		○	○	○		
		・文化祭ポスター制作		○	○	○		
	7月	期末考査 答案返却 (セーフティ教室、学年集会、終業式)	(期末考査 7/1-7)					6
		(夏季休業中)						
		(夏期休業中)						
8月								
2 学 期	9月	・文化祭ポスター制作	「文化祭ポスター」制作では作画から着色まで完成できたかを評価。プリント学習では、課題内容を理解し、それを具体的に表現できたかを評価。		○	○	8	
		・「遠近の描き方」プリント学習			○	○		
		・「遠近の描き方」プリント学習			○	○		
		・「混色トレーニング」プリント学習			○	○		
	10月	・「混色トレーニング」プリント学習	「混色トレーニング」プリント学習では、課題内容を理解し、それを具体的に表現できたかを評価。		○	○	8	
		・「混色トレーニング」プリント学習			○	○		
		・中間考査						
		(セーフティ教室・農高祭準備)						
	11月	(農高祭)	テーマ「空想・幻想の世界」とし、木版画を制作。テーマの鑑賞とその理解、木版画の表現の特性の理解を評価。また長期に渡る課題となるので根気強く取り組む姿勢を評価。		○	○	○	8
		・「一版多色摺り」アイデアスケッチ制作		○	○	○		
		・「一版多色摺り」アイデアスケッチ制作		○	○	○		
		・「一版多色摺り」制作		○	○	○		
	12月	・「一版多色摺り」制作	テーマ「空想・幻想の世界」とし、木版画を制作。テーマの鑑賞とその理解、木版画の表現の特性の理解を評価。また長期に渡る課題となるので根気強く取り組む姿勢を評価。	○	○	○	6	
		期末考査						
		答案返却、行事						
HR指導、学校行事、終業式 (冬季休業中)								
3 学 期	1月	(冬季休業中)	テーマ「空想・幻想の世界」とし、木版画を制作。テーマの鑑賞とその理解、木版画の表現の特性の理解を評価。また長期に渡る課題となるので根気強く取り組む姿勢を評価。				8	
		・「一版多色摺り」制作		○	○	○		
		・「一版多色摺り」制作		○	○	○		
		・「一版多色摺り」制作		○	○	○		
	2月	・「一版多色摺り」制作	テーマ「空想・幻想の世界」とし、木版画を制作。テーマの鑑賞とその理解、木版画の表現の特性の理解を評価。また長期に渡る課題となるので根気強く取り組む姿勢を評価。	○	○	○	8	
		・「一版多色摺り」制作		○	○	○		
		・「一版多色摺り」制作		○	○	○		
3月	学年末考査 答案返却、卒業式予行・卒業式	(学年末考査 3/2-6)					4	
	HR指導、学年集会、行事							
	(行事・特別指導)、修了式、							
	(春季休業中)							
履修上の注意				予定時数計			78	
特記事項等								

教科	科目名・単位数		対象学年・組				
芸術	音楽Ⅰ	(2単位)	3A,3B				
教科担当者	山中淑江Ⅱ： 山中淑江 (C組：)						
使用教科書	教育出版 音楽Ⅰ Tutti+		使用教材等	教科書・プリント・楽器・CDなど			
学習目標：音楽の様々な活動を通して知識や技能を習得し、主体的に表現を創意工夫し、音楽文化に親しむ心情を育てる。							
観点別の評価基準							
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】			
音楽の理論や構造、文化的背景などを理解し、表現するための技能を身に付けているか。		課題に対して自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫して取り組んでいるか。		主体的、協働的に音楽活動に取り組み、音楽を愛好する心情をもって取り組んでいるか。			
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数
1 学 期	4月	(春季休業中)	音楽の授業の内容、注意事項の説明。 「校歌」を覚え、のびやかな声で歌う。ギターの基礎を学び、簡単な曲を練習する。				6
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)					
		ガイダンス・ギター		○	○	○	
		ギター・歌唱		○	○	○	
	5月	ギター・歌唱	(中間考査 5/14-19) 「少年時代」など親しみやすい曲をのびのびと歌う。「よろこびの歌」や音階をギターで練習する。	○	○	○	8
		オンライン学習デー(行事)・大型連休		○	○	○	
		ギター・歌唱		○	○	○	
		中間考査		○	○	○	
	6月	ギター・歌唱	鑑賞はバロックと古典派の曲を学ぶ。 ギターテストは正確に弾けているか、歌唱はのびやかな声で歌えているかを評価する。	○	○	○	8
		ギター・歌唱・鑑賞		○	○	○	
		ギター・歌唱・鑑賞		○	○	○	
		ギターテスト・歌唱テスト		○	○	○	
	7月	ギター・歌唱	(期末考査 7/1-7) 音階を練習し、更に広い音域の曲に取り組む。	○	○	○	6
		期末考査		○	○	○	
		答案返却		○	○	○	
		(セーフティ教室・学年集会・終業式)		○	○	○	
	(夏季休業中)						
	(夏期休業中)						
	8月						
2 学 期	9月	ギター・歌唱	各国の特徴を感じて外国の歌を歌う。ギターはコードを学び弾き語りをする。鑑賞はロマン派の音楽を学ぶ。	○	○	○	8
		ギター・歌唱・楽典		○	○	○	
		ギター・歌唱・楽典		○	○	○	
		ギター・歌唱・鑑賞		○	○	○	
	10月	ギターテスト・歌唱・ミュージカルについて	ミュージカルの歴史を学び、色々な要素を理解して鑑賞する。 (中間考査 10/14-17)	○	○	○	8
		ミュージカル鑑賞		○	○	○	
		ミュージカル鑑賞		○	○	○	
		中間考査		○	○	○	
	11月	キーボード・歌唱	鍵盤楽器の基礎を理解し、簡単な曲を練習する。 (農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)	○	○	○	8
		キーボード・歌唱		○	○	○	
		キーボード・歌唱		○	○	○	
		キーボードテスト・歌唱テスト		○	○	○	
	12月	キーボード・歌唱	(期末考査 12/8-12)	○	○	○	6
		期末考査		○	○	○	
		答案返却、行事		○	○	○	
		HR指導、学校行事、終業式		○	○	○	
	(冬季休業中)						
3 学 期	1月	(冬季休業中)	ピアノの発明と変遷とピアノ曲の変化を学ぶ。 歌唱は日本歌曲を歌う。キーボードは二重奏の練習をする。				8
		キーボード・歌唱・ピアノの歴史		○	○	○	
		キーボード・歌唱・ピアノの歴史		○	○	○	
		キーボード・歌唱・鑑賞		○	○	○	
	2月	キーボード・歌唱	舞台芸術の歴史とオペラについて学び、ストーリーや音楽を味わう。 (自宅学習・入選・採点2/20-25)	○	○	○	8
		キーボード・歌唱		○	○	○	

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組				
英語	英語コミュニケーションⅡ	(2 単位)	3年A組、3年B組					
教科担当者:		(A組: 藤本) (B組: 藤本) (C組:)						
使用教科書:		三省堂VISTA English CommunicationⅡ		使用教材等:	自作プリント			
学習目標: 言語能力の本質としての思考力・判断力・表現力の養成を土台として、中学校と高校生活前半までに習得した能力を更に伸長させながら、英語の基礎的な知識や技能の習得、コミュニケーション英語の能力の向上を図る。								
観点別の評価基準								
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】				
既習の事項が身についており、授業の中で学習したことが適切な場面で使用できているか。		学んだことを異なる場面でも、その論理・場面に応じた内容を表現できているか。		学習課題を学んだことを活かして取り組むことができるか。				
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数	
1 学 期	4月	(春季休業中)					6	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)						
		品詞と文法	・1.2年次までに扱った文法事項を活用し、世界中の舞踊についての英文を読むことができるようになる	○	○			
		Lesson1 Section1 World Dance Performances			○	○		
	5月	Lesson1 Section2 World Dance Performances			○	○	8	
		オンライン学習デー(行事)、大型連休	(中間考査 5/14-19)	○	○	○		
		Lesson1 Section3 World Dance Performances	・「朝飯前」など日本でもなじみ深い慣用句が違う言語でも話されていることを理解しながら、既習事項の疑問詞、接続詞の新たな用法を理解し、英文として表現できるようになる。	○	○	○		
		中間考査		○	○			
	6月	間接疑問文			○	○	8	
		Lesson2 Section1 A piece of Cake				○		○
		接続詞if	・「朝飯前」など日本でもなじみ深い慣用句が違う言語でも話されていることを理解しながら、既習事項の疑問詞、接続詞の新たな用法を理解し、英文として表現できるようになる。	○	○			
		Lesson2 Section2 A piece of Cake			○	○		
	7月	Lesson2 Section3 A piece of Cake				○	○	6
		Lesson2 Section3 A piece of Cake				○	○	
		READ ON! Proverbs			○	○	○	
		期末考査		○	○	○		
	8月	答案返却						
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)	(期末考査 7/1-7)					
		(夏季休業中)						
		(夏季休業中)						
	2 学 期	9月	第5文型 SVOC (使役動詞)	第5文型であるS (主語) V (動詞)、O(目的語)、C (補語) を活用し、今までの英文にはなかった形を理解する。知覚動詞や使役動詞の存在を確認しつつ、実際の問題での活用を通して理解を深める。	○	○		8
			Lesson3 Section1 Quokka			○	○	
			第5文型 SVOC (知覚動詞)		○	○		
			Lesson3 Section2 Quokka			○	○	
10月		第5文型 SVOC (知覚動詞)2		○	○		8	
		Lesson3 Section3 Quokka	(中間考査 10/14-17)		○	○		
		READ ON! Platypuses	オーストラリアに棲息する「クオッカ」について教科書の文を読んで概要を把握し、それを伝え合うことができるようになる。またその際に「原形不定詞」について英文の構成を意識し、作文ができるようになる。	○	○	○		
		中間考査		○	○			
11月		形式主語 (不定詞)		○	○		8	
		(セーフティ教室・農高祭準備)						
		(農高祭)	(農高祭・振替・ボランティアの日 11/1-11/6)					
		Lesson4 Section1 Designing Stamps	・切手デザイナーとして働く玉木明さんのインタビュー形式の英文を読むことを通じて、世の中にある生徒自身も目にしたことがあるだろうデザインや切手デザイナーという職業の特殊性を感じながら自身のキャリアについて考えるとともに文中で元気になる目的語を仮に置き換えて動詞の原形で表す「形式目的語」の文章構成を理解させる。		○	○		
12月		Lesson4 Section2 Designing Stamps			○	○	6	
		Lesson4 Section3 Designing Stamps			○	○		
		Lesson4 Section3 Designing Stamps			○	○		
		期末考査		○	○	○		
3 学 期		1月	答案返却、行事	(期末考査 12/8-12)				8
			H R 指導、学校行事、終業式					
			(冬季休業中)					
			世界遺産「モン・サン・ミシュエル」が観光地になるまでに抱えてきた問題を英文で理解させ、時制の働きについて既習学習事項を踏まえて理解させる。		○	○	○	
		2月	Leeson5 Section1 Mont-Saint-Michel			○	○	8
			過去完了形			○	○	
			Lesson5 Section2 Mont-Saint-Michel			○	○	
			完了形の復習			○	○	
	3月	Leeson5 Section3 Mont-Saint-Michel	(自宅学習・入選・採点2/20-25)		○	○	4	
		READ ON! Mother Poulard's Omelets			○	○		○
		Take a Break! 2				○		
		(入選・自宅学習)						
	3月	学年末考査			○	○		
		答案返却、卒業式予行・卒業式						
		HR指導、学年集会、行事	(学年末考査 3/2-6)					
		(行事・特別指導)、修了式、						
	(春季休業中)							
	履修上の注意						予定時数計	78
	特記事項等							

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組			
農業		食品製造	(1 単位)	3年A組			
教科担当者：A組： 熊谷 昌洋 (B組：) (C組：)							
使用教科書：		実教出版「食品製造」		使用教材等：			
学習目標： 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品製造に必要な資質・能力を身に付ける。							
観点別の評価基準							
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】			
食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。		食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。		食品製造について生産性や品質の向上が経営発展へつながるようみずから学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。			
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数
1 学 期	4月	(春季休業中)					3
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)					
		食品衛生とは		○		○	
		食品衛生行政と法律		○		○	
	5月	食中毒とは	(中間考査 5/14-19)	○		○	4
		オンライン学習デー(行事)、大型連休					
		食中毒と分類		○	○		
		中間考査		○			
	6月	有害物質による食品の汚染①		○		○	4
		有害物質による食品の汚染②			○	○	
		食品による感染症・寄生虫症・食物アレルギー			○	○	
		食品の安全性の確保			○	○	
	7月	食品添加物とは	(期末考査 7/1-7)	○	○		3
		食品添加物の規格と基準、および安全性評価		○		○	
		1学期の振り返り			○	○	
		期末考査					
8月	答案返却						
	(セーフティ教室、学年集会、終業式)						
	(夏季休業中)						
2 学 期	9月	(夏季休業中)					4
		発酵食品とは		○		○	
		発酵食品と微生物		○		○	
		みそ・しょうゆの製造		○		○	
	10月	麹	(中間考査 10/14-17)	○		○	4
		みそ①		○		○	
		みそ②			○	○	
		しょうゆ		○		○	
	11月	中間考査	(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)	○	○		4
		酒とは			○	○	
		(セーフティ教室・農高祭準備)					
		(農高祭)		○		○	
	12月	酒類製造の基礎	(2学期の振り返り)	○		○	3
		ワイン		○		○	
		ビールと清酒		○		○	
		その他の発酵食品			○	○	
3 学 期	1月	2学期の振り返り	(期末考査 12/8-12)	○	○		4
		期末考査					
		答案返却、行事					
		H R 指導、学校行事、終業式					
	2月	(冬季休業中)	(自宅学習・入選・採点2/20-25)				4
		食品の貯蔵法の種類		○		○	
		乾燥による貯蔵		○		○	
		低温による貯蔵		○		○	
	3月	殺菌による貯蔵	(学年末考査 3/2-6)	○		○	2
		食塩・砂糖・酢による貯蔵		○		○	
		空気組成の調整による貯蔵		○		○	
		食品添加物による貯蔵		○	○		
	3月	3学期の振り返り		○			
		学年末考査		○	○		
		答案返却、卒業式予行・卒業式					
		H R 指導、学年集会、行事					
履修上の注意						予定時数計	39
特記事項等							

教科		科目名・単位数		対象学年・組				
農業		生物活用 (2 単位)		3年A組				
教科担当:		(A組: 林 香織) (B組:) (C組:)						
使用教科書:		実教出版「生物活用」		使用教材等: プリント等				
学習目標: 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、園芸作物の活用に必要な資質・能力を育成する。								
観点別の評価基準								
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】				
園芸作物の活用に関する基礎的な知識を身につけ、それらの生物の特性を活用し活動を理解している。園芸作物の活用に関する基礎的な技術を身につけ、その技術を適切に活用している。		園芸作物の活用に関する課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身につけている。		園芸作物の活用について興味・関心を持ち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身につけている。				
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数	
1 学 期	4月	(春季休業中)	(中間考査 5/14-19)				6	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)						
		生物活用とは何か		○		○		
		生物活用の大切さ			○	○		
		私たちの暮らしと生物活用		○	○	○		
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休 生物活用におけるプロジェクト学習					8	
		中間考査			○	○		
		私たちの暮らしと園芸		○		○		
		植物・園芸がもたらす効用		○	○	○		
	6月	植物・園芸の活用		○	○	○	8	
		植物・園芸の活用		○	○	○		
		植物・園芸の活用		○	○	○		
		植物・園芸の活用		○	○	○		
	7月	植物を扱う際の留意点				○	6	
		期末考査		○	○			
答案返却								
(セーフティ教室、学年集会、終業式)								
(夏季休業中)								
		(夏期休業中)						
8月								
2 学 期	9月	草花の種類と特性	(中間考査 10/14-17)	○		○	8	
		園芸デザイン		○	○	○		
		園芸デザイン飾		○	○	○		
		花壇の活用と管理		○		○		
		花壇の活用と管理		○	○	○		
	10月	花壇の活用と管理		○	○	○	8	
		花壇の活用と管理		○	○	○		
		中間考査						
		フラワーデザイン (セーフティ教室・農高祭準備)		○		○		
	11月	(農高祭)		(農高祭・振休・ボランティアの 日 11/1-11/6)			○	8
		フラワーデザイン			○		○	
		フラワーデザイン			○	○	○	
		フラワーデザイン			○	○	○	
	12月	室内園芸装飾		(期末考査 12/8-12)	○		○	6
		室内園芸装飾			○	○	○	
期末考査		○	○					
答案返却、行事								
HR指導、学校行事、終業式 (冬季休業中)								
3 学 期	1月	(冬季休業中)	(自宅学習・入選・採点2/20-25)				8	
		室内園芸装飾		○	○			
		室内園芸装飾		○	○			
		地域緑化、都市緑化		○		○		
		地域緑化、都市緑化		○		○		
	2月	地域緑化、都市緑化		○	○		8	
		地域緑化、都市緑化		○	○			
		バリアフリーとユニバーサルデザイン		○	○			
		バリアフリーとユニバーサルデザイン		○	○			
	3月	学年末考査			○	○	4	
答案返却、卒業式予行・卒業式								
HR指導、学年集会、行事								
(行事・特別指導)、修了式、 (春季休業中)								
履修上の注意		なし				予定時数計	78	
特記事項等		なし						

予定時数計

78

教科	科目名・単位数		対象学年・組				
農業	総合実習	(4 単位)	3年A組				
教科担当者:	(A組:熊谷・峰岸・牧戸・大福)						
使用教科書:	実教出版「食品製造」	使用教材等:	実験・実習資料				
学習目標:	農業の見方・考え方を働かせ、実践的、体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業各分野の改善を図る実践的な資源・能力を育成する。						
観点別の評価基準							
【知識・技能】		【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】				
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。		農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付き自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数
1 学 期	4月	(春季休業中)					12
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)					
		総合実習オリエンテーション		○	○	○	
		実験器具の取扱い①、バターの製造①		○	○	○	
	5月	実験器具の取扱い②	(中間考査 5/14-19)	○	○	○	16
		オンライン学習デー(行事)、大型連休					
		バターの製造		○	○	○	
		中間考査		○	○	○	
	6月	食品酸度の測定実験①		○	○	○	16
		ヨーグルトの製造		○	○	○	
		食品酸度の測定実験②		○	○	○	
		食品酸度の測定実験③		○	○	○	
	7月	味噌の製造①	(期末考査 7/1-7)	○	○	○	12
		味噌の製造②		○	○	○	
		1学期の振り返り					
		期末考査		○	○	○	
2 学 期	9月	答案返却					16
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)					
		(夏季休業中)					
		(夏期休業中)					
	10月	チーズの製造①		○	○	○	16
		炭水化物の定性実験①		○	○	○	
		チーズの製造②		○	○	○	
		炭水化物の定性実験②		○	○	○	
	11月	プリン①の製造	(中間考査 10/14-17)	○	○	○	16
		プリン②の製造		○	○	○	
		味噌の製造②		○	○	○	
		中間考査		○	○	○	
	12月	農業クラブ全国大会	(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)	○	○	○	16
		(セーフティ教室・農高祭準備)		○	○	○	
		(農高祭)		○	○	○	
		塩分の定量実験①		○	○	○	
3 学 期	1月	塩分の定量実験②	(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)	○	○	○	16
		燐製の製造		○	○	○	
		タンパク質の定性実験		○	○	○	
		2学期の振り返り		○	○	○	
	2月	期末考査	(期末考査 12/8-12)	○	○	○	12
		答案返却、行事					
		HR指導、学校行事、終業式					
		(冬季休業中)					
	3月	鶏の解体実習①		○	○	○	16
		鶏の解体実習②		○	○	○	
		電子顕微鏡による観察実験		○	○	○	
		課題研究発表会事前学習		○	○	○	
	2月	課題研究テーマ設定①	(自宅学習・入選・採点2/20-25)	○	○	○	16
		課題研究テーマ設定②		○	○	○	
		課題研究テーマ設定③		○	○	○	

予定時数計 156

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組				
農業	農業と情報	(	2 単位)	3年A組				
教科担当者：(A組：熊谷・峰岸)(B組：) (C組：)								
使用教科書：実教出版「農業と情報」				使用教材等：				
学習目標：農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業に関する情報を主体的に活用するために必要な資質・能力を育成する。								
観点別の評価基準								
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】				
学校での学習や実習を通して、農業に関する情報等をその目的や条件に合わせて活用できる知識と技術を理解している。		農業情報の活用について、職業人に求められる倫理観をもって思考を深め、科学的な根拠などに基づいて創造的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。		環境保全や農林業の持続的な発展に果たす意義や役割に関心をもち、農業の振興や社会貢献に主体的・協動的に取り組む態度を身に付けている。				
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数	
1 学 期	4月	(春季休業中)					6	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)						
		オリエンテーション		○		○		
		私たちの生活と農業の情報化			○	○		
	5月	情報社会における私たちの生活	(中間考査 5/14-19)		○	○	8	
		オンライン学習デー(行事)、大型連休 情報とメディア			○	○		
		中間考査		○	○	○		
		情報社会とモラル			○	○		
	6月	日本語ワードプロセッサの概要		○		○	8	
		日本語ワードプロセッサの基本機能		○		○		
		日本語ワードプロセッサの基本操作①		○		○		
		日本語ワードプロセッサの基本操作②			○	○		
	7月	日本語ワードプロセッサの基本操作③	(期末考査 7/1-7)		○	○	6	
		実技テスト		○	○	○		
		期末考査		○	○	○		
		答案返却						
2 学 期	9月	(セーフティ教室、学年集会、終業式)					6	
		(夏季休業中)						
		(夏期休業中)						
		(夏期休業中)						
	8月							
	9月	情報デザイン①					8	
		情報デザイン②			○	○		
		画像・図形処理ソフトウェアの概要			○	○		
		ペイントソフトウェアの概要			○	○		
	10月	画像・図形処理ソフトウェアの応用	(中間考査 10/14-17)		○	○	8	
		ペイントソフトウェアの応用		○		○		
		文章デザイン検定				○		
		中間考査		○	○	○		
	11月	社会を支えるコンピュータ (セーフティ教室・農高祭準備)	(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)	○		○	8	
		(農高祭)			○	○		
		プログラミング①		○		○		
		プログラミング②			○	○		
	12月	プログラミング③	(期末考査 12/8-12)		○	○	6	
		プログラミング④			○	○		
		実技テスト		○	○	○		
		期末考査		○	○	○		
3 学 期	1月	答案返却、行事					6	
		HR指導、学校行事、終業式						
		(冬季休業中)						
		(冬季休業中)						
	2月	(冬季休業中)	(自宅学習・入選・採点2/20-25)				8	
		表計算ソフトウェアの概要		○				
		表計算ソフトウェアの基本機能(表の編集)		○		○		
		表計算ソフトウェアの基本機能(関数の利用)		○		○		
	3月	農業情報の分析と活用①			○	○	4	
		農業情報の分析と活用②			○	○		
		表計算演習①		○		○		
		情報処理検定(表計算)		○		○		
	3月	実技テスト		○	○	○	8	
		学年末考査						
		答案返却、卒業式予行・卒業式						
		HR指導、学年集会、行事						
	3月	(行事・特別指導)、修了式、 (春季休業中)					4	
		(春季休業中)						
	履修上の注意						予定時数計	78
	特記事項等							